2016 年日本国内及び日系海外のボンド磁石生産・需要動向

企画委員長
㈱エムジー
吉田　和仁

2016 年の日本国内におけるボンド磁石の生産を俯瞰するとやや伸長傾向とみます。最大市場のマグロール用途で小径化がストップしたことや需要の下落率が収まってきている中、エアコン室外機ファンモータや車載用途が上向きで全体の生産量を押し上げました。フェライト系ではフレキシブルボンド磁石が前年比横ばい、リジッドボンド磁石は前年微増。

希土類系ボンド磁石については 12 月 8 日の世界生産統計討論会で中国や EU への輸出分が相当量あるとの情報を得ました。その結果、国内生産を昨年発表値の 8 割、1,150t と推定しましたがワールドワイドの視点では 2015 年の 8,400t から 8,800t へと増加していると推定しました。

分野別動向

1. フレキシブルフェライトボンド磁石

2016 年の国内生産はここ数年横ばいで 3,240 t と推定します。金額についても前年比横ばいの 23 億円と推定します。

OA 関連用途に使われる磁石の減少に替わる用途として、車載関連の伸びを期待していますが、耐熱性の問題で思ったような伸びは見られません。その反面、中国などの人件費アップの影響からマイクロモータ用を含む一般製品については価格競争力がついてきています。また、吸着・雑貨用途に於いて新たな需要が見られ、当該ニーズは今後に期待できるものであります。日系メーカーの海外生産については海外自社生産および技術指導による海外委託生産等で増加傾向に有り、金額で 55% 増の 17 億円と推定しました。

2　リジットフェライトボンド磁石

2016 年の国内生産は前年比微増の 6,800 トンと推定します。主要市場であるマグロール市場では、モノクロは出荷が落ち込んでいるものの小径化が止まったため落ち込み幅は減少しました。一方、カラーの出荷は順調に増加していますが、マグロールの総量としては僅かに減少傾向にあります。また、JEMA の集計によるとエアコン出荷が対前年比 103% とあり、ファンモータ用途の需要が手堅いと思われます。金額については前年比 1% 増の 105 億円と推定します。日系メーカーの海外生産は国内と同様傾向と考えられますので、こちらも前年比 1% 増とし、86 億円と推定しました。

3　希土類ボンド磁石

2016 年の国内生産は 1,150t と推定します。内訳は等方性 MQP が 550t。非 MQP 採用の動きは表面化していません。Sm-Fe-N は 400t 弱でそれ以外は HDDR となりますが、中国での HDDR 磁粉の生産はまだ、それほど多くは無いようで、不足分を国内生産の HDDR 磁粉で賄う状況にあります。用途としてはシートモーター等の車載用途が伸長しています。金額については 225 億円と推定します。日系メーカーの海外生産は MQ3 の生産増加との情報が有り、この点を勘案し昨年比 16% 増の 580 億円と推定します。

【フレキシブルフェライトボンド】

	生産量（トン / 年）	前年比	生産金額（百万円 / 年）	前年比
2013 年	2,700	108%	1,890	100%
2014 年	3,240	120%	2,300	122%
2015 年	3,240	100%	2,300	100%
2016 年	3,240	100%	2,300	100%

【リジッドフェライトボンド】

	生産量（トン / 年）	前年比	生産金額（百万円 / 年）	前年比
2013 年	6,800	113%	10,300	113%
2014 年	7,280	110%	11,600	112%
2015 年	6,730	90%	10,400	90%
2016 年	6,800	101%	10,500	101%

【希土類ボンド】

	生産量（トン / 年）	前年比	生産金額（百万円 / 年）	前年比
2013 年	900	113%	17,100	---
2014 年	1,250	139%	24,500	143%
2015 年	1,400	112%	27,400	112%
2016 年	1,150	82%	22,500	82%

【日系メーカーの海外生産金額】　　単位　：百万円

	フレキシブル	リジッド	希土類	合計
2013 年	1,050	9,400	50,000	60,450
2014 年	1,100	9,400	51,000	61,500
2015 年	1,100	8,500	50,000	59,600
2016 年	1,700	8,600	58,000	68,300